優秀賞

0280　ROUND SCOPE HOUSE

冨永美保　横浜国立大学　大学院
中島弘貴　東京大学　大学院

プレゼンサマリー

東日本大震災から1年以上が経ったが、高齢化などの問題を抱える東北地方の産業の衰退は加速され、小さな名産や民芸品の多くは消滅の危機に瀕している。そこで関東圏の郊外敷地に「出張する東北」として関東の郊外と東北の小さな村をつなぐ復興住宅を提案する。NPOなどと流通システムを構築し、物流と鉄道の交錯する7カ所を敷地に選定。花崎駅周辺をケーススタディとして、ポケットパークともなる家を計画した。住宅はL字のヴォリュームと円形のフレームを重ね合わせ、その内側に小さな広場をもつ。円形フレームに設えたレールの上を季節ごとに変化する出荷物がくるくる回る。

（プレゼンテーションより抜粋）

審査員コメント

・暮らしの説明に終始していて建築的な話が少ない。L字形配置には惹きつけられるが、このプレゼンでのL字部分のあり方に魅力が足りない。
（ 藤森照信 ）

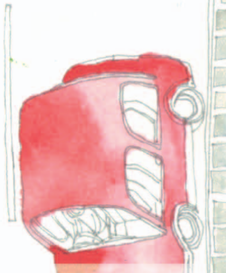
・東北の産業を応援するという狙いはよいが、よくある物産館みたいになるのではないか。周辺住民が買いに来てくれること以上のつながり方も想定されているとよかった。（ 千葉学 ）

・ここを仕事場と考えると面白い。農業をするにはこのくらい大きな土間が必要。被災地ということが前面に出すぎてしまっているのが残念。
（ 松山巖 ）

ROUND SCOPE HOUSE

東日本大震災から１年以上が経った今、
仮設住宅に住む被災者の本設、復興住宅へと移っていく時期は迫っている。
莫大な予算が割かれ、被災地は物理的には復興していくかもしれない。
しかしながら、高齢化などの問題を潜在的に抱えていた東北地方の産業の衰退は加速され、小さな名産や民芸品の多くは消滅の危機に瀕している。
そういったものには、目で見て、手で触って、味わってこそ分かる魅力的な物が多くあった。

関東圏の郊外の敷地において、被災者の復興住宅として、４０坪の使い方を考えたい。
「出張する東北」として、関東の郊外と東北の小さな村をつなぐ復興住宅を提案する。



この住宅は、L字のヴォリュームと円形フレームの重ねあわせの構成で、その内がわに小さな広場をもっている。円形フレームにレールをしつらえ、陽のあたる場所や暗い場所、風通しのいい場所など、季節や種類や天候によって、またその時々で変化する出荷されるものによって、家の表情を飾る円形部分の装いがくるくると変わる。

住人は、被災者であると同時に、その小さな名産をつくっていた産業の担い手とし、トラックで運ばれてきた後、そのまま売るだけでなく、その一部は生業としてその場で加工されていく。
その行程を地域にひらくことで、東北の職人の技術や文化を次の世代に伝承していく場となる。

一日や一年の時間の推移によって、それぞれのものの領域はときに広がり、または縮まり、
関東の郊外に文化をふきこむ地域の器となる。

▶「出張する東北」としての復興住宅

場所ごとの小さな名産

a 日本酒
岩手県大槌町
出荷時期は１月・10月。岩手の水と豊光で大事につくられた日本酒。蔵の幸に合い、旨みがあり、キレも良い。

b 藍染め
岩手県釜石町
出荷時期は８月-11月。
火を使わず、季節のうつりかわりの温度差による日本最古の染めの技法を持る。

c のどぐろ
宮城県鮎川浜
出荷時期は８月-1月。
赤く丸顔のつった魚で、関東の市場では超高級魚。干物にして食べると絶品。

d 大堀相馬焼
福島県浪江町
出荷時期は１月-12月。
創業360年で、現在は28軒の窯元が伝統を守っていたが、現在は建屋のため活動休止中。

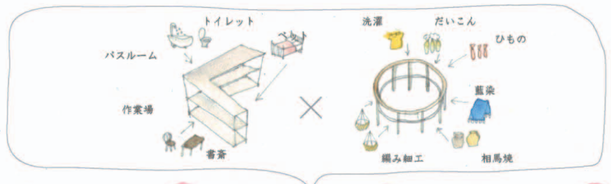
e 真会津編み組細工
福島県三島町
出荷時期は11月-2月。縄文時代から伝わる技法で、冬に自然素材で民具を生み出す伝統町工芸品。

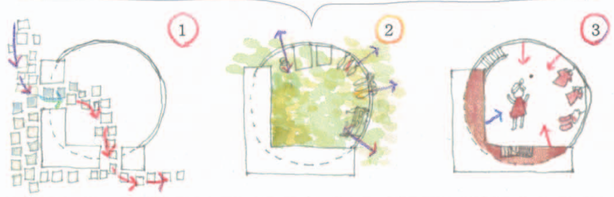
被災者の復興住宅は被災地やその周縁の東北の名産、工芸品の物流の中継地点となる。東北自動車道沿いにある関東の郊外の町がその敷地となり、その場所は、単なる住宅ではなく、観光大使つきの直売所になる。
また、物流を通した結びつきで、東北の集落の従来のコミュニティのあり方と異なるネットワークを形成する。

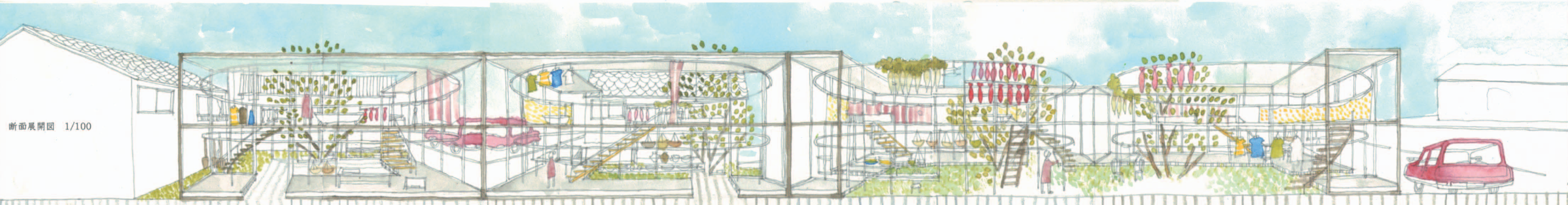
▶物流の中継地点に建つ

敷地は東北自動車道のインターチェンジから５分の郊外住宅地であり、かつ住む人の交通インフラを担保する駅から徒歩５分のところである。

▶生活のヴォリュームと生業のレール・フレームの重ね合わせがつくる暮らしの密度





1. L字のヴォリュームはGL部分に入口を２つ設けて抜けをつくり、中央の庭は地域のポケットパークとなる。
2. 隣地と境界は門をつくるのではなく円型のフレームで柔らかく区切る。みどりが色づく涼しい頃には広場にキッチンをひろげ旬の野菜をふるまったり、小さなパーティーがひらかれたりする。直売所も兼ねた地域のひとやすみの休憩所となる。
3. 円型のフレームに遮光性カーテンをくぐらせると、暮らしに必要な小さな個室がうまれる。

断面展開図　1/100